



SUWADA OPEN FACTORY

雪融けが進み、一面真っ白な平野に田んぼが現れてくると、白鳥がやってきます。FACTORY 周辺の田んぼでは、毎年数百羽の白鳥が餌(土の中で冬眠中のドジョウや蛙など)を食べたり、毛づくろいをして日中を過ごします。クワックワツと鳴き声の合唱が聞こえ、Vの字に隊列を組んで飛んでいる様子は、このあたりでは良く見かける、春先の光景です。SUWADA OPEN FACTORY も少しずつ春の準備を進めています。是非お立ち寄りください！



工場周辺の田んぼは、ここ数日で随分雪が融けました
手前に3羽の白鳥、山手は弊社社屋と工場

IDSデザインコンペティション 審査員賞受賞！



3/7(木)財団法人にいがた産業創造機構(NICO)主催の「ニイガタIDS(イデス)デザインコンペティション 2013」が、新潟市朱鷺メッセを会場に行われ、弊社の「トロフィー/ビスポークのオブジェ」がIDS 審査員賞を受賞しました。

先月号でもご紹介した三条鍋グランプリ仕様の、鍛造スクラップを火造りして制作したトロフィーで、謎え品としての商品提案です。

ビスポークとは英語“Be-Spoken” 対話を重ねながら依頼主のお客様と作り上げること。既製品など無かった時代の「謎え」というビスポークの方法で「絶滅しかけている手仕事の職人技を顧客にマッチングさせて生かす。」という「古くて新しいビジネスモデル」としての可能性を評価していただきました。

もう一品、賞を取るには至りませんでした。2種類の「レーザーホルダー」も出品しました。一つはスチール材の最高峰であるダマスカス鋼のホルダーで、表面に流れるような独特の紋様が浮かび上がります。もう一つは鍛造スクラップを用いたホルダーで、スクラップ材を鏡面研磨で仕上げ直して作りました。



どちらも同じものが再現不可能な、世界に二つと無いコレクターズアイテムです。最終完成品と廃棄処分の加工品との差は非常にユニークですが、今後もこの2種類それぞれの素材特性を生かしたメンズアクセサリを、シリーズ化する予定です。お楽しみに！



フランクフルト・アンビエンテ 2013 に今年も出展！

2/15～19の5日間、ヨーロッパ最大の消費材見本市フランクフルターメッセ・アンビエンテが開催。SUWADA はミラノの高級雑貨店 CEDES 社と共同出展。約 100 m²の贅沢なスペースにお客様を迎え、多くの商談が行なわれました。その他に、NICO 百年物語の企画ブース、燕三条プライドプロジェクトのブース、三条商工会議所 SMITH Sanjo ●Japan ブースの合計4ヶ所に展示参加。日本の、新潟の、燕三条の手作りの技を多くのお客様にご紹介する事ができました。既存のお客様だけでなく新しいお客様とのコンタクトも多く、参加以来最も商談件数の多い展示会となりました。



今後のイベント・出展情報

3/13～18 宮崎山形屋新館 5F「第5回大新潟展」

3/27～4/2 日本橋三越本館 1F

「新潟百年物語～JAPAN NEW POWER」

3/27～4/2 新潟伊勢丹 7F「BSN 新潟遺産展(仮)」

4/1(月) 決算社内会議のため、SHOP・工場ともに休業させていただきます

<この件に関するお問い合わせ>

(株) 諏訪田製作所 総務 小林 TEL: 0256-45-6111 e-mail: suwada@suwada.co.jp